

WELCOME TO PHARMACY DEPARTMENT

横浜市立市民病院
薬剤部



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

数字で見る薬剤部（人員）

常勤薬剤師

44名

会計年度薬剤師

4名

生涯研修薬剤師

5名

看護師

3名

調剤補助者

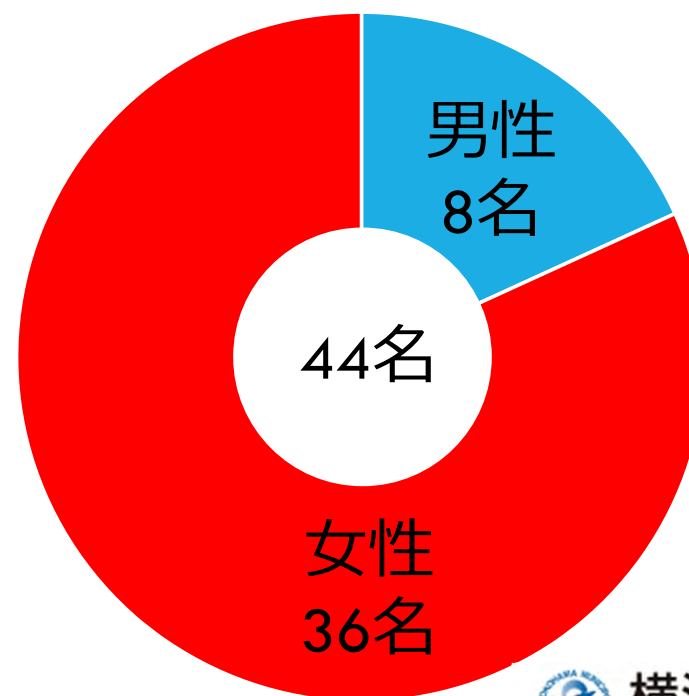
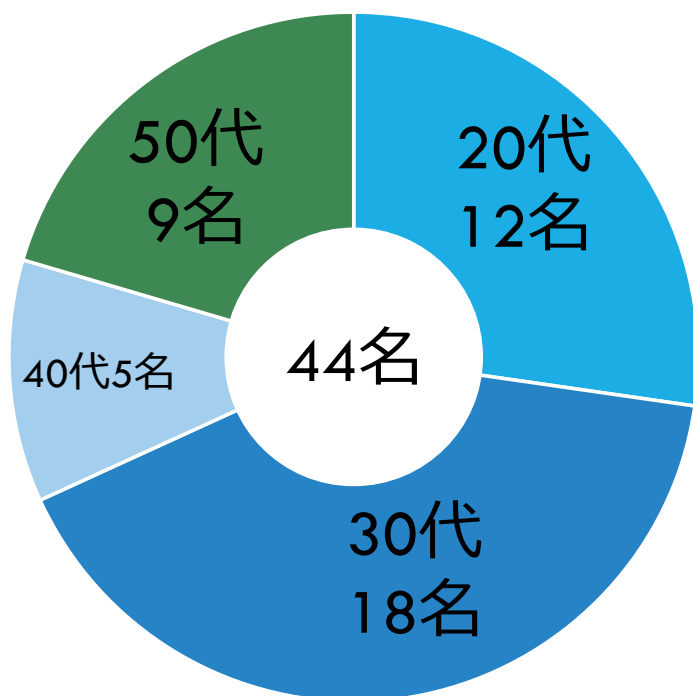
5名

委託SPD

10名

年齢構成・男女比（正職員）

薬剤部長 1 名、副薬剤部長 1 名、担当係長 4 名（うち 1 名は医療安全管理室、1 名は感染管理室と兼務）



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

薬剤部の基本方針

- ・ 機械でできることは機械にまかせる
- ・ 薬剤師免許不要な業務は他職種へタスクシフトする
- ・ 薬剤師は本来業務に注力する
- ・ 業務は属人化させず、複数担当制にする
- ・ 超過勤務、長時間労働を抑制する
- ・ 休暇を取得しやすい職場を目指す



薬剤部の目指すところ

- ・ 医療安全に貢献できる薬剤師を目指します
- ・ チーム医療に積極的に参画します
- ・ 市民に安心・安全で良質な医療の提供を目指します
- ・ 病院経営を常に考えて業務を遂行します
- ・ 職員の幸福度が高い、心理的安全性の高い組織を目指します



心理的安全性の高い組織へ

心理的安全性の高い組織・医療チームへ、職員ひとり一人がつくる職場風土、がんばりすぎない

1. 話しやすい（何を言っても大丈夫！）

率直な意見、素朴な質問、違和感の指摘を、いつでも誰でも気兼ねなく言える組織

2. 助け合う（困った時はお互い様！）

日頃から人の状況を把握し、問題が起きた時は人を責めるのではなく、必要な事実を共有・相談し、建設的に解決策を考え、支援・協力を求めることができる組織

3. 挑戦する（まずやってみよう！）

挑戦（模索、試行錯誤）する、歓迎する、機会を与える、機会をつかむことができる組織

4. 新奇歓迎（その視点はなかった！）

組織やチーム、時に社会や業界の「常識」にとらわれず、メンバー一人ひとりの強みや個性、新しい視点や発想を受け入れ、「まとはずれ」をむしろ歓迎する組織



調剤支援システム



調剤支援システム

PTPシート全自動
薬剤払出システム
Tiara



計数調剤管理
システム
F-WAVE



最終鑑査支援
システム
F-AUDIT



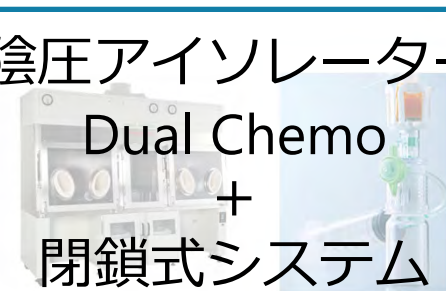
注射薬自動払出
システム
UNIPUL-5000



手術部セット
薬品管理システム
Litera・Offside



陰圧アイソレーター
Dual Chemo
+
閉鎖式システム
ネオシールド



TIARAの特徴

- ・ 約300品目の搭載薬を 1 錠単位で払出
- ・ ピッキング作業時間の短縮
- ・ 処方箋、薬袋との付け合わせは非薬剤師が実施



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

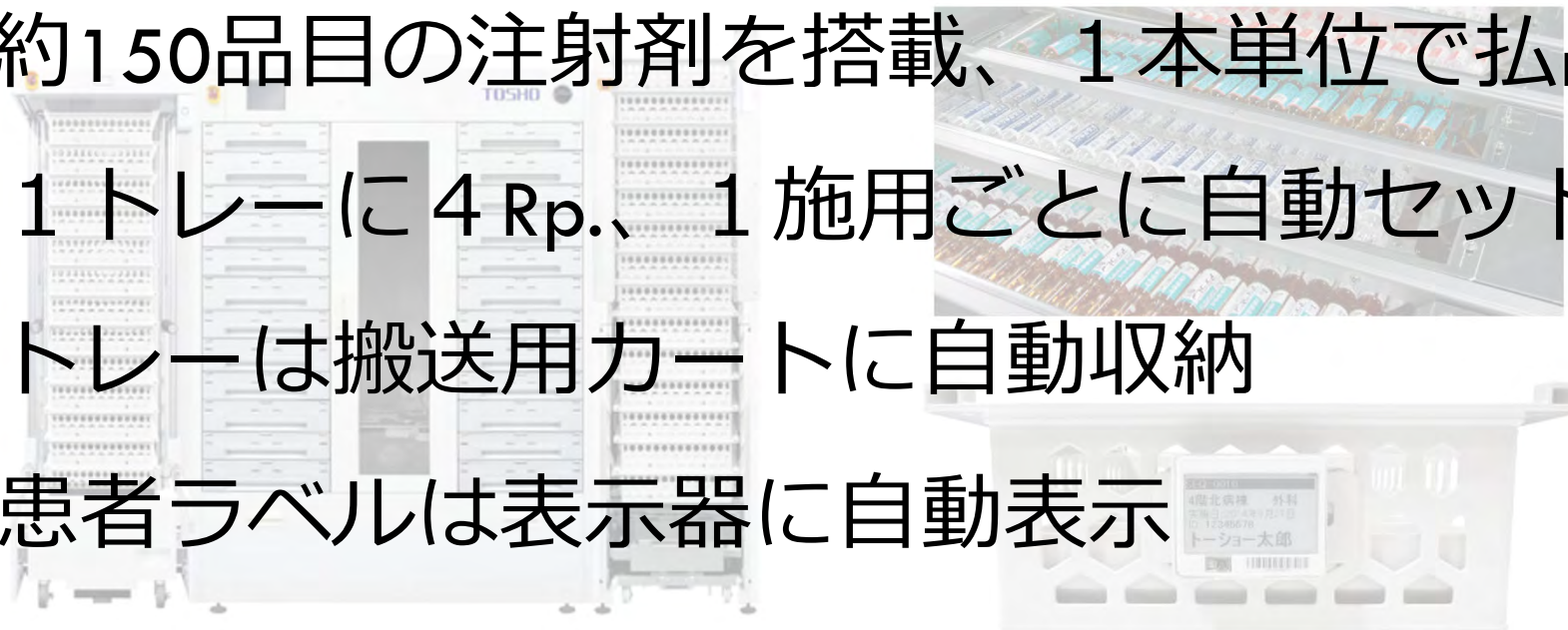
F-WAVE ・ F-AUDITの特徴

- ・ バーコード照合により薬剤取り間違いを防止
- ・ 棚位置表示で効率的なピッキング作業が可能
- ・ 照合機能により充填・返納作業は単独で可能



UNIPUL-5000の特徴

- ・ 約150品目の注射剤を搭載、1本単位で払出
- ・ 1トレーに4Rp.、1施用ごとに自動セット
- ・ トレーは搬送用カートに自動収納
- ・ 患者ラベルは表示器に自動表示



LITERA ・ OFFSIDEの特徴

- ・ 手術室の注射薬をリアルタイムで在庫管理
- ・ 取出し・返却のカウント機能付き収納棚
- ・ 薬品出入りの記録や操作履歴の確認が可能
- ・ 音声・画面で警告、扉は電磁ロック



DUAL CHEMO・ネオシールドの特徴

- ・ ISOクラス5、100%室外排気アイソレーター
- ・ 2名同時作業でも個別空間での作業が可能
- ・ 庫内より外気に触れずに直接廃棄が可能
- ・ 廃棄物ボックス作業時も強い陰圧を維持
- ・ 閉鎖式システム使用により曝露を完全防止



臨床業務支援システム



MedicaLab

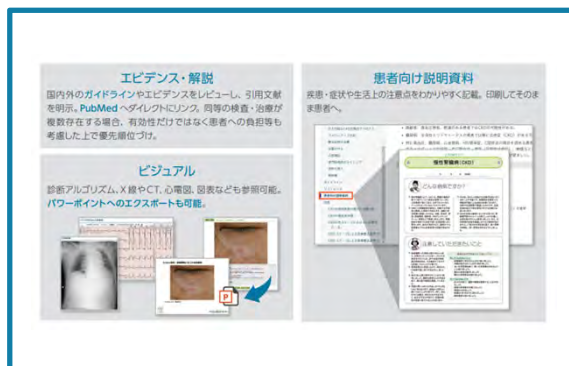
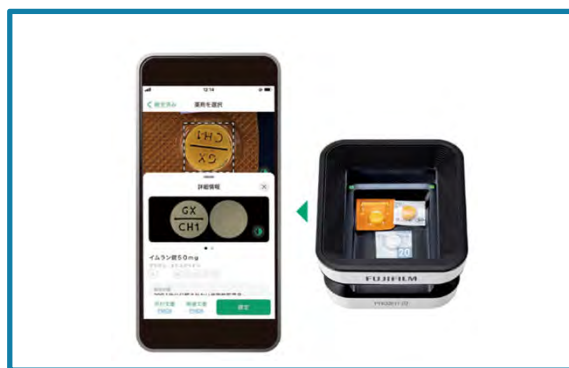
- 病院・薬剤師向け -



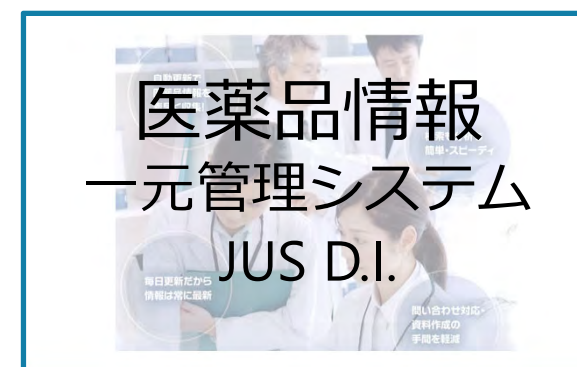
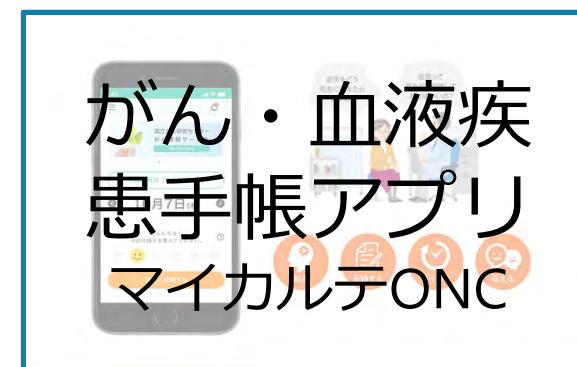
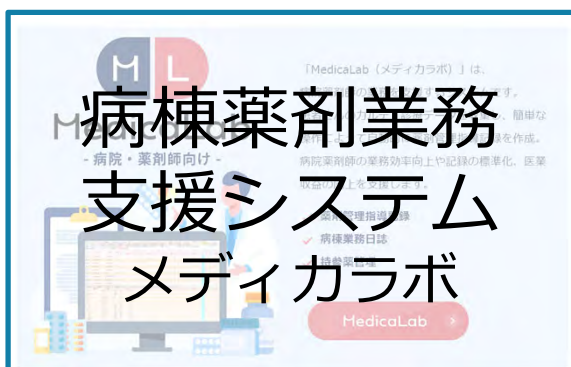
「MedicaLab（メディカラボ）」は、
 病院薬剤師の業務を支援するシステムです。
 患者さんのカルテ・診療データを収集し、簡単な
 操作によって自動的に薬剤管理指導記録を作成。
 病院薬剤師の業務効率向上や記録の標準化、医薬
 収支の向上を支援します。

- ✓ 薬剤管理指導記録
- ✓ 病棟業務日記
- ✓ 持参薬管理

MedicaLab
➤

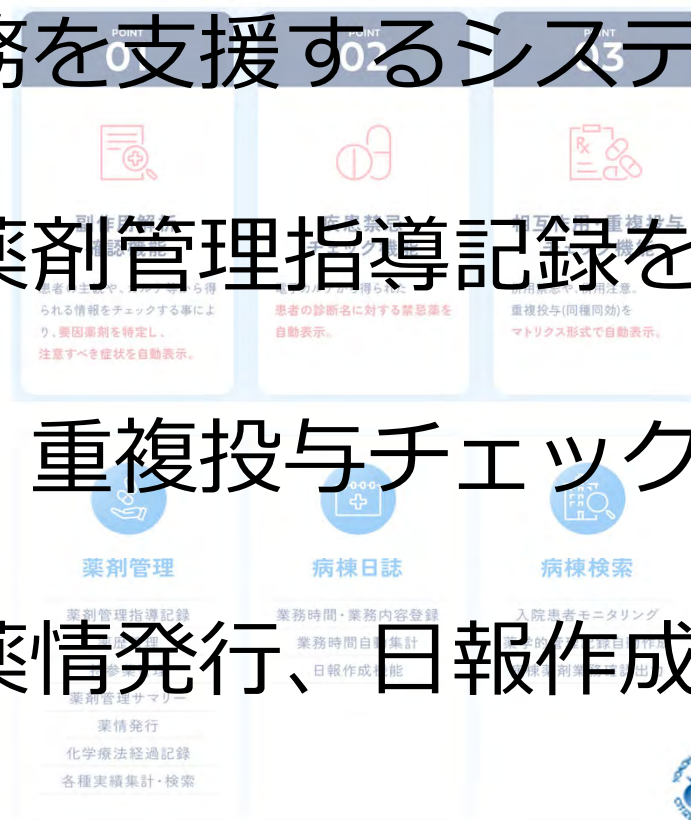
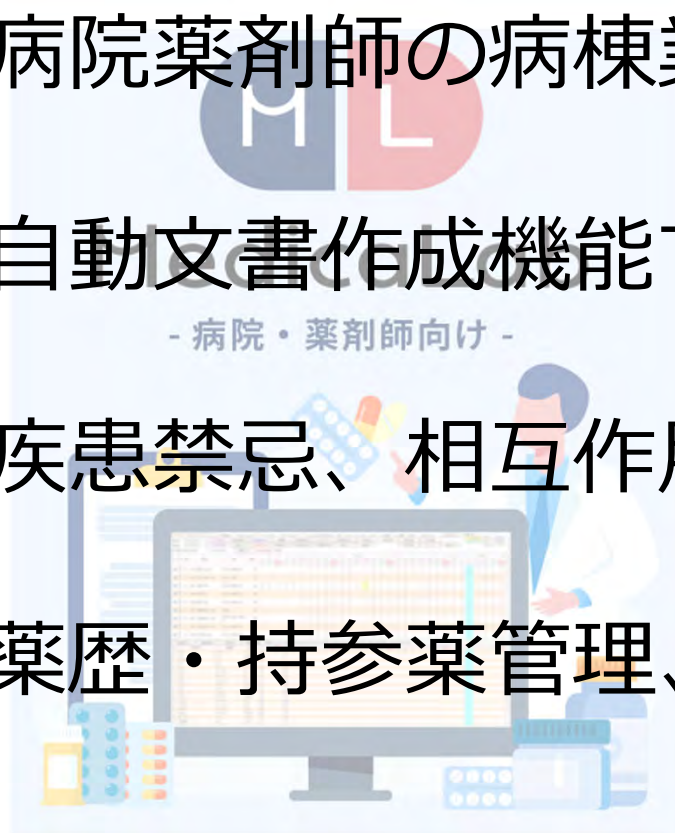


臨床業務支援システム



メディカラボ

- ・ 病院薬剤師の病棟業務を支援するシステム
- ・ 自動文書作成機能で薬剤管理指導記録を作成
- ・ 疾患禁忌、相互作用、重複投与チェック機能搭載
- ・ 薬歴・持参薬管理、薬情発行、日報作成が可能



PROOFIT IQ

- ・スマホ撮影した薬剤をAIが識別、薬剤情報を表示
- ・一包化された錠剤も識別可能
- ・見難い刻印は強調補正して見やすく表示
- ・薬剤鑑別業務の効率化

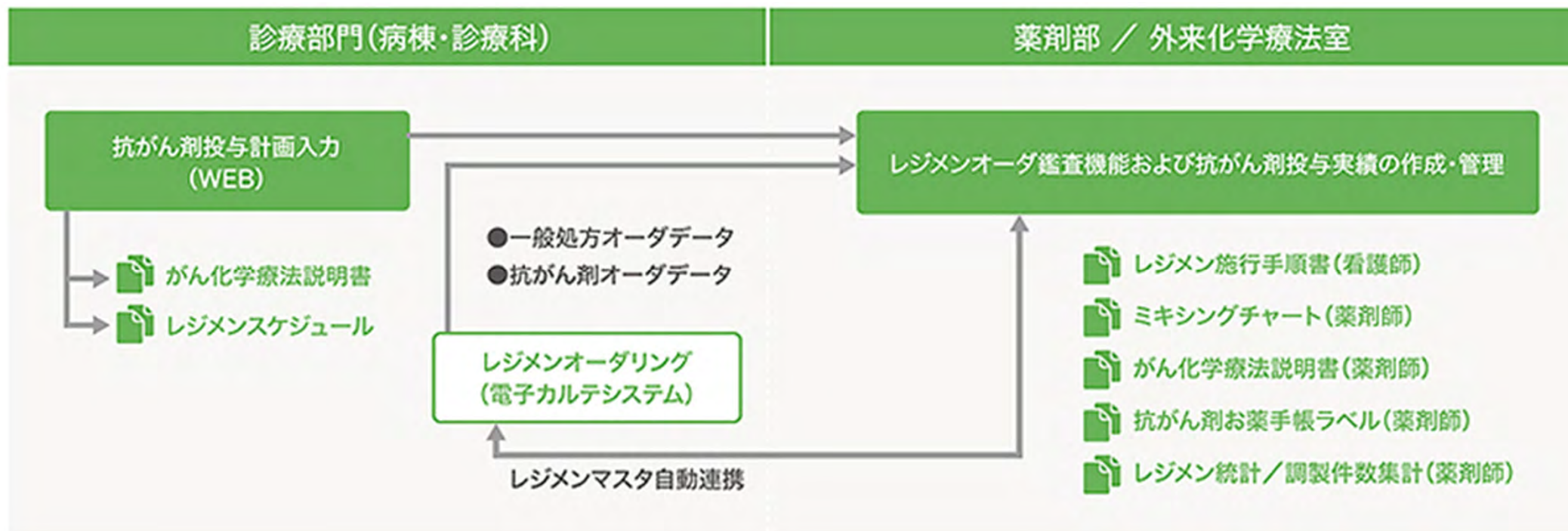


マイカルテONC

- ・がん・血液疾患患者の治療をサポートするアプリ
- ・体調や症状、通院時の備忘メモなど患者が記録
- ・グラフやカラースケールで伝えやすく見える化
- ・気になるコントには薬剤師が応対



CROSS



今日の臨床サポート

- ・日本の医療に準じたエビデンスベース

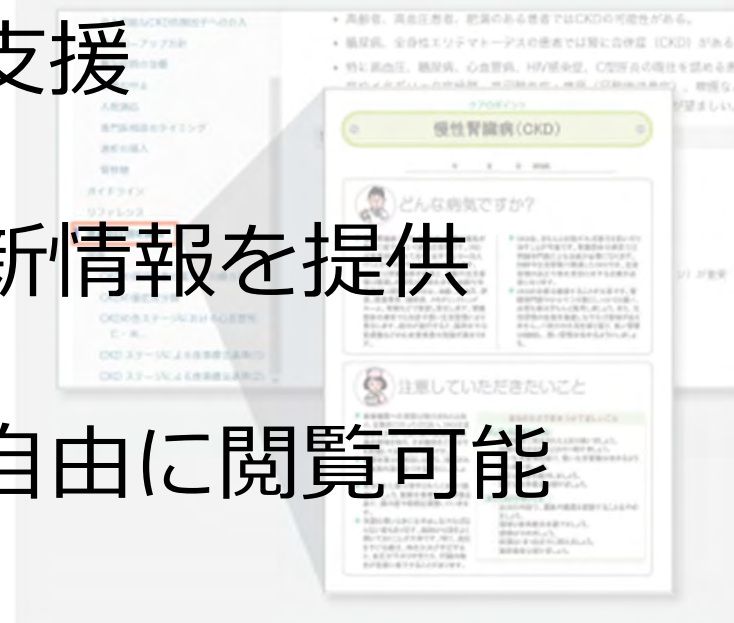
国内外のガイドラインやエビデンスをレビューし、引用文献を明示。PubMedヘダイレクトにリンク。同等の検査・治療が複数存在する場合、有効性だけでなく患者への負担等も考慮して最適化を提案。

疾患・症状や生活上の注意点をわかりやすく記載。印刷してそのまま患者へ。

- ・迅速な意思決定を支援

- ・高い更新頻度で最新情報を提供

- ・電子カルテ端末で自由に閲覧可能



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

UptoDate, DynaMed

- 最新のエビデンスに基づいた二次資料

- 最も著名な電子教科書（UptoDate）

- 情報が端的に確認できるエビデンス集（DynaMed）

- 自分のPCやスマホからも利用可能

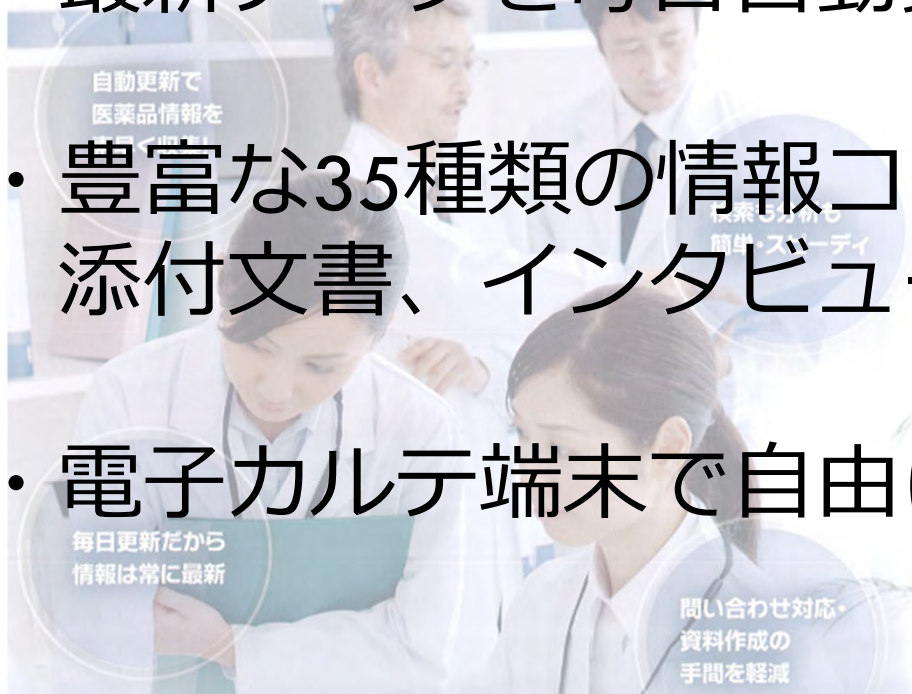
The image displays two overlapping screenshots of medical evidence platforms. The background screenshot is from UptoDate, showing a topic page for 'Overview of the initial treatment of advanced non-small cell lung cancer'. It includes sections for 'SITES', 'SUMMARY AND RECOMMENDATIONS', and 'Systemic therapy options'. The foreground screenshot is from DynaMed, showing a 'Recent Alerts' section with a guideline summary for 'Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension (CTEPH)' updated on 11 Oct 2024. A 'DynaMed Decisions' banner is also visible.



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

JUS D.I.

- 最新データを毎日自動更新
- 豊富な35種類の情報コンテンツ
添付文書、インタビューフォーム等
- 電子カルテ端末で自由に閲覧可能



数字で見る薬剤部 (令和6年度)

入院内服・外用

630枚／日

入院注射

775枚／日

院外処方箋

383枚／日

外来内服・外用

33枚／日

外来注射

25枚／日

院外処方箋発行率

92.0%

病棟

7 F	7A (感染症)	7B (耳鼻科・皮膚科等)	7C (緩和ケア)
6 F	6A (消化器・呼吸器)	6B (呼吸器・消化器)	6C (血液内科)
5 F	5A (小児科)	5B (呼吸器・消化器)	5C (消化器・呼吸器)
4 F	分娩ユニット 4A (産科)	NICU・GCU 4B (婦人科・泌尿器・神経内科)	4C (泌尿器・神経内科・眼科)
3 F	3A (循環器)	3B (脳神経・整形)	3C (整形・脳神経)
2 F	ICU・CCU HCU	手術室	



病棟業務担当

7 F	7A (感染症) 5名	7B (耳鼻科・皮膚科等)	7C (緩和ケア)
6 F	6A (消化器・呼吸器) 6名	6B (呼吸器・消化器)	6C (血液内科)
5 F	5A (小児科) 6名	5B (呼吸器・消化器)	5C (消化器・呼吸器)
4 F	分娩ユニット 4A (産科) 8名	NICU・GCU 4B (婦人科・泌尿器・神経内科)	4C (泌尿器・神経内科・眼科)
3 F	3A (循環器) 7名	3B (脳神経・整形)	3C (整形・脳神経)
2 F	ICU 5名 GCU	HCU 3名	手術室 1名



その他の薬剤部業務

患者サポート
センター
(入院前面談)

薬剤師外来
(がん患者の
診察前面談)

外来化学療法室
での指導・マイ
カルテONC対応

キャンサー
ボード
(月1回)

糖尿病教室
(多職種連携)
(月1回)

外来患者の
自己注射指導
(ヒュミラ注等)

チーム医療への参画

感染対策チーム
(ICT)

抗菌薬適正使用
サポートチーム
(AST)

栄養サポートチーム
(NST)

緩和ケアチーム

がん診療
サポートチーム

褥瘡ケアチーム

精神科
リエゾンチーム

心臓リハビリ
チーム

認知症ケアチーム

排尿ケアチーム

周術期
管理チーム

HIVチーム

ASTチームの魅力

- ・ 第一種感染症指定医療機関ならではの、なかなか見ない感染症もある。
- ・ 症例抽出から問題提起までを薬剤師が中心となってい、カンファレンスにてチームとしての推奨を決定している。
- ・ 医師・細菌検査技師・看護師・薬剤師と、各専門職種がそれぞれ違った視点から評価することで、より深い症例理解に繋がる。
- ・ 「制限」ではなく「支援」。個々の症例について理解し(時に主治医と協議し)、より良い選択を提案している。
- ・ 感染制御専門薬剤師 1 名、感染制御認定薬剤師 2 名、抗菌化学療法認定薬剤師 2 名

緩和ケアチームの魅力

- ・ 緩和ケア内科医師や精神科医師、放射線科医師、看護師、MSWなど多職種と連携することができる。
- ・ カルテや画像を供覧しながら、カンファレンスを行い自身のスキルアップにも繋がる。
- ・ 正解のない分野だからこそ、個人の感性が生かせるチームで常日頃やりがいがある
- ・ 緩和医療指導薬剤師 1 名、緩和薬物療法認定薬剤師 1 名

HIVチームの魅力

- ・中核拠点病院なので患者数は神奈川県で1番多い。
- ・高齢化に伴い、HIV感染症以外の慢性疾患の合併が問題となっており、薬に関する幅広い知識が求められる。幅広い診療科が揃っているため、当院の中で治療が完結する。
(糖尿病・腎臓疾患・悪性腫瘍等... 慢性疾患に詳しくなれる。既に薬に関する幅広い知識を持っている方は、HIVの分野でもその力を活かせる。)
- ・身体機能だけでなく心理状態、社会生活のサポートも重要。(一生涯の治療に寄り添う)
- ・チームスタッフ間だけでなく、他の医療機関や社会資源との連携も重要。
(中核拠点病院としての研修受け入れ、地域への発信も。)
- ・HIV感染症認定薬剤師 2 名

数字で見る薬剤部 (病棟業務) 令和6年度

薬剤管理指導料 1

605件／月

薬剤管理指導料 2

728件／月

麻薬指導件数

39件／月

退院指導件数

98件／月

病棟薬剤業務実施加算 1

3332件／月

病棟薬剤業務実施加算 2

998件／月

薬剤総合評価調整加算

4件／月

退院時共同指導料

11件／月

がん患者指導管理料 イ

31件／月

がん患者指導管理料 ロ

27件／月

がん患者指導管理料 ハ

21件／月

連携充実加算

118件／月

数字で見る薬剤部 (認定・専門)

がん専門

1 名

がん薬物療法認定

1 名

外来がん治療専門

1 名

HIV感染症認定

2 名

感染制御専門

1 名

感染制御認定

2 名

抗菌化学療法認定

2 名

NST専門療法士

5名

緩和医療暫定指導

1 名

緩和薬物療法認定

1 名

心不全療養指導士

3名

循環器病予防療養指導士

1 名

数字で見る薬剤部 (認定・専門)

糖尿病療養指導士

3 名

腎臓病療養指導士

1 名

周術期管理認定

2 名

漢方・生薬認定

1 名

老年薬学認定

1 名

スポーツファーマシスト

1 名

研修センター認定

6 名

病院薬学認定

15 名

認定実務実習指導

8 名

診療情報管理士

1 名

研修施設（日本病院薬剤師会）



日病薬 がん薬物療法認定薬剤師 暫定研修施設

- ・実務経験3年以上で申請資格
(実技研修免除)



日病薬 HIV感染症薬物療法認定薬剤師 研修施設

- ・実務経験3年以上で申請資格
(実技研修免除)

研修施設（日本臨床腫瘍薬学会）



がん診療病院連携研修施設

- ・ 外来がん治療認定薬剤師（APACC）有資格者
- ・ 実務経験5年以上
- ・ がん診療病院連携研修等（研修免除）



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

キャリア意向申告書

・病院が実施している異動の意向調書とは別に実施

- 担当したい業務
- 担当したい病棟、診療科、疾患領域
- 担当したい部門内のチーム
- 担当したい院内の多職種医療チーム
- 今後取得したい（維持継続したい）認定資格
- 管理職や統括、専任、主任への昇進希望

▶ スタッフのキャリア支援、適材適所、モチベーション・やりがい度アップ

薬剤部 キャリア意向申告書

職員番号： _____ 氏名： _____

勤務経験（配属年月日）： _____ 年 _____ 月 _____ 日 勤務 _____ 年 _____ 月 _____ 日

※すべての質問項目で複数選択可能です。（可能であれば順位付けなども示してください）
 ＊薬剤部業務のうちあなたが担当したい業務を教えてください。

☐ 中央業務

☐ 調剤室 ☐ 注射室 ☐ 医薬品管理 ☐ 医薬品情報 ☐ PFM ☐ 手術室・麻薬

☐ 化学療法関係 ☐ その他（具体的に： _____ ）

上記を希望する理由について教えてください

☐ 病棟業務

具体的に担当したい病棟があれば教えてください。

① _____ 病棟 ② _____ 病棟 ③ _____ 病棟

具体的に担当したい診療科や疾患領域があれば教えてください

① _____ 科 ② _____ 科 ③ _____ 科

上記を希望する理由について教えてください

★あなたが担当したい薬剤部門内のチーム

☐ 医療安全（インシデント）チーム ☐ 化学療法（ケモチーム） ☐ 業務改善チーム

☐ 教育（含学生実習）チーム ☐ 災害対策（防災）チーム ☐ 薬業連携（地域連携）チーム

☐ 病院機能評価対策チーム ☐ その他・新規提案（具体的に： _____ ）

あなたが担当したい院内の（多職種）医療チーム

☐ ICT（感染管理チーム） ☐ AST（抗菌薬適正使用支援チーム） ☐ 褥瘡ケアチーム

☐ 緩和ケアチーム ☐ 呼吸療法サポートチーム ☐ NST（栄養サポートチーム）

☐ 精神科リエンチーム ☐ 認知症・せん妄サポートチーム ☐ 排泄ケアチーム

☐ がん診療サポートチーム ☐ LCT リンパ浮腫ケアチーム ☐ 心臓リハビリテーションチーム

☐ 糖尿病チーム ☐ 周術期管理チーム ☐ 摂食・嚥下チーム ☐ DMAT（災害派遣）

☐ その他・新規提案（具体的に： _____ ）

上記を希望する理由について教えてください



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

一般職員に求められる職位による役割

能力開発・伸長期*1

能力活用期*2

職員Ⅰ

市職員としての
基礎を身につける職員

市立病院職員・専門職としての意識を高め、自己研鑽に努め、さらなる知識・技術の向上を図り、より安全かつ正確に調剤業務ができ、基本的な病棟業務、夜勤業務を遂行できる。

職員Ⅱ

能力の幅を広げ、
職場を支える中堅職員

高度な知識や技術を身に付け、応用力を発揮して業務を遂行できる。問題意識を持ち課題解決に取り組める。他部門と連携し、薬剤業務を円滑に遂行できる。

職員Ⅲ

豊富な経験をもとに、
職場を支える中核となる職員

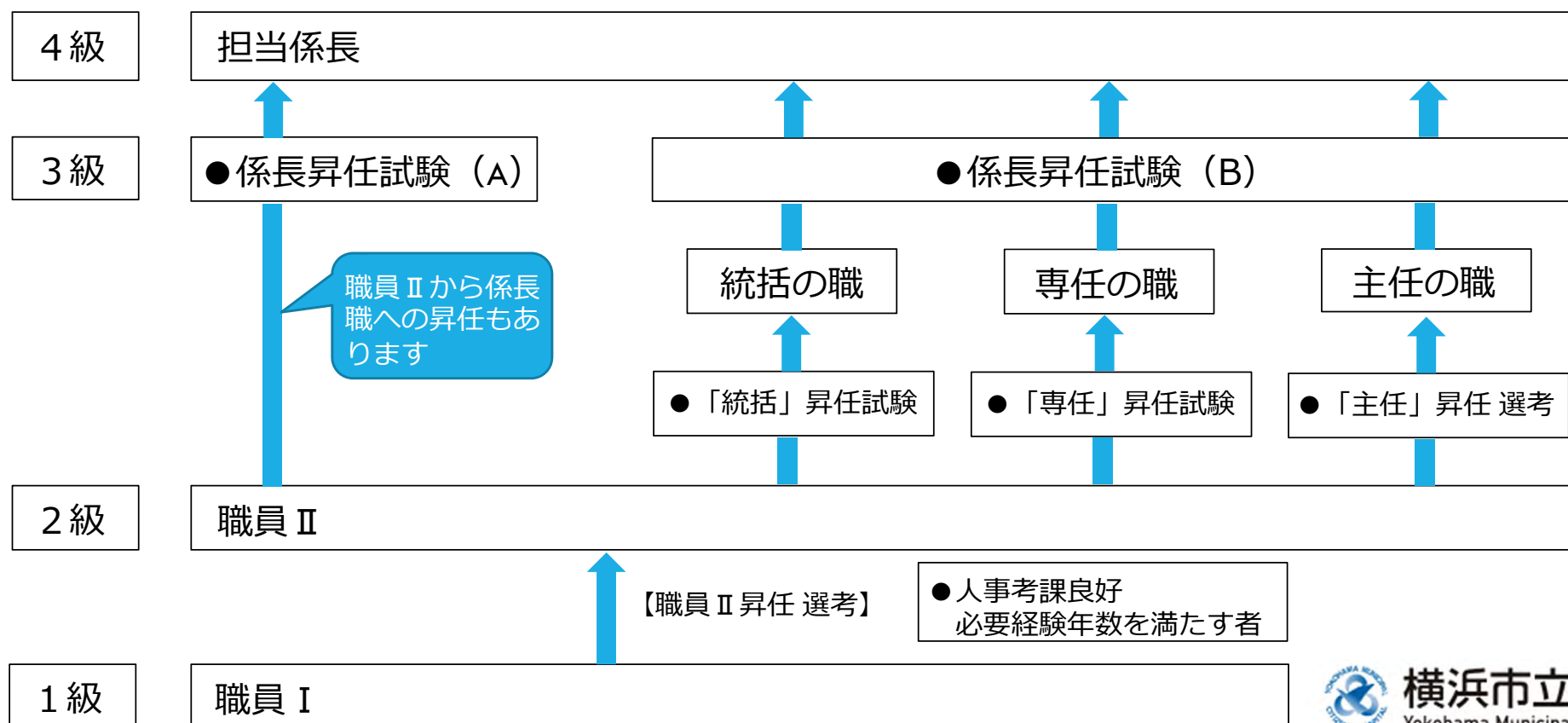
主任、専任、統括それぞれの立場でリーダーシップを発揮して円滑な部署運営に携われる。

*1 個々の業務で力を発揮しつつ、能力開発と伸長に努める時期

*2 主として培った経験を活かす時期

昇任体系

横浜市立 2 病院



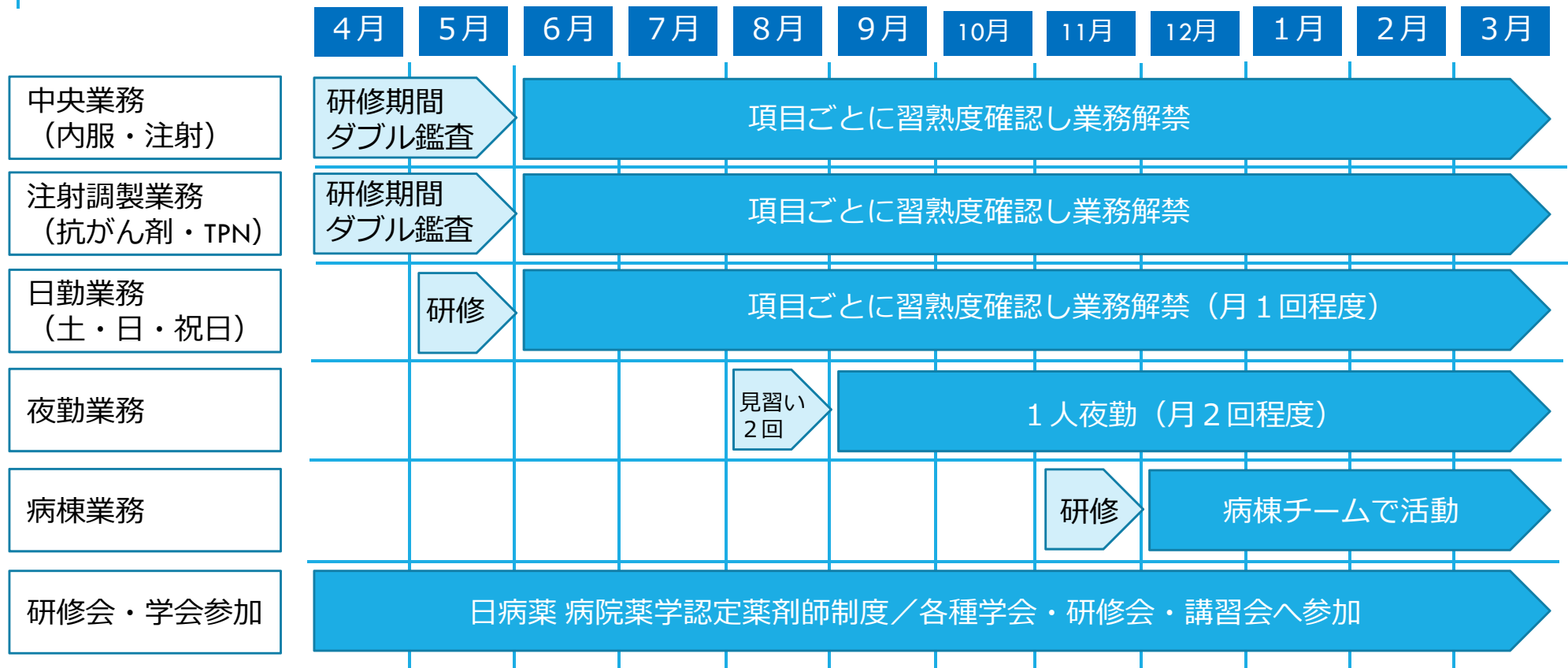
病院間研修派遣制度

- ・市立 2 病院に勤務する職員が、自身の病院では得難い経験を積み、キャリアアップ等を図ることを目的として実施
- ・対象者は毎年 4 月 1 日時点で本市経験 2 年以上の職員
- ・研修派遣の募集・選考を行い、派遣期間中は元所属の身分を保有したまま 6 か月間、派遣先での業務（研修）に従事



新人研修プログラム

* 時期は年度により多少前後します



共通事項

- ・横浜市医療局病院経営本部の薬剤師（職員Ⅰ）として働きます
- ・勤務地は市民病院、または脳卒中・神経脊椎センターに限られます
（勤務地の選択はできません）
- ・異動は横浜市立 2 病院間に限られます
- ・資格取得支援制度あり
- ・病院間研修派遣制度（6か月間）あり



共通事項

勤務時間：午前8時30分～午後5時15分（休憩 1 時間）、週休 2 日制

休日日勤、夜勤等あり

1 か月単位の変形労働時間制（上限勤務時間）

休暇制度：年次休暇20日（年間最大40日）、介護休暇

特別休暇（リフレッシュ休暇 5 日、結婚、出産、配偶者の出産、

病気、生理、育児時間、子の看護、服忌、社会貢献活動、

男性職員の育児参加休暇など）

育児休業（3 歳まで）、部分休業（小学校就学の始期に達するまで）

育児短時間勤務（小学校就学の始期に達するまで）

福利厚生：ベネフィットステーション など 横浜市の福利厚生が利用可



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

お問合せ・施設見学依頼はこちら

横浜市立市民病院 薬剤部

〒221-0855

神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1

電話 045-316-4580（平日9時～17時）

メールアドレス by-phinfo@city.yokohama.lg.jp



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital